

平成29年度 新コース制 スタート

グローバルな視野と新しい学力への対応

平成28年9月完成予定のグランド



4つの新コース

1年次	2・3年次	主なコースの特色
スーパー特進(S特)	S特理系 S特文系	国公立大学、難関私立大学に確実に現役合格するコース。英語教育に特化しICT教育・校内予備校を導入。主要教科は習熟度別授業。放課後、春、夏、冬期講座補習。難関私大直前講座。
選抜I	選抜理系I 選抜文系I	難関私立大学・中堅大学以上に確実に現役合格するコース。英語キャンプ、英語スピーチコンテスト等英語教育の充実。高大連携・一流企業体験プログラム。放課後、春、夏、冬期講座補習。
選抜II	選抜文理II 選抜文系II	多種多様な入試に対応し、有名私立大学に確実に現役合格するコース。学習とクラブ活動の両立を目標とし、基礎学力を徹底的に磨く。放課後、長期休業中講座補習。軽井沢ワークキャンプ。
アスリート選抜	アスリート選抜	個々の生徒の特技を生かしながら、多種多様な入試に対応し、有名私立大学に確実に現役合格するコース。野球、サッカー、柔道、ソフトテニスの競技種目が対象。高大連携プログラム。スポーツ科学系講習会および実習。

五時三十分頃起きて、六時には家を出ました。七時三十分には並んで、九時受付まで待っていました。七百人以上のたくさんのボランティアの方がいました。活動内容として、午前中は個人宅の片付けの手伝いをして、午後からは、避

いました。また傾いていて
次大きな地震が来たら、崩
れてしまいそうな家、瓦や
壁などが剥がれ落ちている
家もたくさんありました。
他人事のように考えていた
自分が恥ずかしく感じま
した。そして、初日の主な活
動内容は、避難所の運営支
援をしました。校庭の石拾
い、体育館の清掃、避難者
の場所移動の手伝いなど、
たくさんのことを行なってま
した。

持ちでいっぱいでした。色々な話を聞いて色々な経験ができたので、熊本に来てボランティアができる本当に良かったです。反対せずに、熊本行きを許可してくれた両親にも感謝しています。この経験を今後生活や、将来に生かせるようになります。

とを、感じることができました。どんなに大変でもみんなで協力しようという精神が、とても強かったです。ボランティアは、他県から来ている方がたくさんいました。ボランティアセンターの方から一人の方や被災者の方から「高校生なのに、わざわざ能本のために、埼玉から来てくれてありがとう」と言って頂いて、とてもうれしかったです。私の方こそボランティアを通してたくさんのこと

中教審から「新しい時代
にふさわしい高大接続の実現
に向けた高等学校教育、
大学教育、大学入学者選抜
の一體的改革について」の答申
がありました。また、

る力を挙げています。本校では豊かな人間性を育て、さらに健康・体力を養うためにクラブ活動や体育祭などの学校行事に力を入れております。また、確かな学力を養成するため、朝学習から中学時代の既習事項の確認を行います。そ

のうえ、模擬試験の事前事後指導を行ない、学力向上を意識させ、着実な偏差値アップを狙います。さらに詰込み型の授業だけでなく、協同学習を取り入れ、主体的な学習意欲向上を促すため、教職員一同一丸となつて取り組みます。

さて2020年度から大

評価が不十分であつた入試の問題についても、関してもある一定水準で学力が問われるわけです。そこで、さらなる教育效果を上げるために来年度からコース変更をすることになりました。それぞれのコースの特徴を生かしたカリキュラムや教育システムを構築しました。さらに、体験

試験が効果的に進む予定になっています。

最後に本校では、勉強もクラブにも意欲をもつ高校生活を送りたいといふ生徒を求めています。中三年生にとっては最後の年間です。悔いを残さないように勉強して欲しいと思います。

震に、本校二年堤紫音さんが二泊三日で災害ボランティアに参加しました。

今回の地震は夜だったため、懐中電灯は重要でした。常日頃から確認していくことと、靴ははいて出た方が良いことを学びました。

大學入試改革を 見据えた学校改革

教頭一川智宏

熊本地震災害ボランティアに 参加して

熊本地震災害ボランティアに
参加して

学研究所見学ツアーや軽
沢ワーケキャンプなどを
り込む予定です。また、予
より東洋大学との高大連
授業を行つておりますが

井 盛て 携 、

吉ボランティアに